

おーい図書館

No. 60

発行 おーい図書館
代表 青木 和子
松本市 総台 830-160
TEL 367-153884

行政との話し合い

6月1日 市議会棟の応接室
において行政の方達3名（生涯学
習本部参事監兼企画管理室長、同
席門監・同指導主事）長谷川市議
「おーい図書館」4名とで、図書館
について話し合いました。

今年度は市役所の機構改革があ
り、これまでの部署がどのように
変わったのか、どの部署が何を担
ぎ、どのように変わったのか、わか
らなくなってしまうたので、このよ
うな場を持つたことは大変意義あ
ることに思いました。

生涯学習基本構想は？

昨年の「あけた」生涯学習基本
構想策定のための片内プロジェクト
の成果について尋ねたところ、昨
年度教育委員会が市民300人を無作
為抽出して行った市民意識調査（生
涯学習の理念・認知度、どうい
うかどの様な活動をしているかなど）
を元に、自治省の外郭団体（地方
自治研究機構と前出の片内プロジ
ェクト）委員長 福岡聖徳大学教授）
とで生涯学習基本計画策定のため
の調査研究報告書」として今年3月
に答申をまとめたとの事でした。その
冊子（冊頂きました）は、行政資料セ

ンターに置いてあるから、タイ
ジエラスト版を作りたいとの事です。
この報告書に掲載されている基
本方針は、市議会でも承認され、
図書館など個々の施策は今年と来
年で作る。作業の途中経過はイン
ターネットや広報紙などに掲載し
それに對する市民の声を聞いてい
くという事が、市議会でも合意され
たそうです。

卒直に意見交換を

企画管理室

①現在の松戸図書館のサービス
部分での問題は何か、どの様な機
能が欠けているか。

②新しい図書館に望む事は何か、
卒直な意見を聞かせてほしい。

おーい図書館

①サービス面で、もともと大事な
事は、職員教育。職員教育や初任
者研修をしっかりと行なってほしい。
本が貴重品だった時代は過ぎ

あふれる本の中から何を選ぶかという時代になっている。選書を適確に行える職員であってほしい。求めらるるものが地域によって違っていて来ていると思う。高齢化が進んでいる地域の図書館などの特殊性を考えた上で、大事な図書購入費を使ってほしい。

分館や県立図書館などを連絡車が回っているのですが、おおよそ手に入らない本は無いというのが、本館に書庫が無いのは大問題だと思つ。週に一度しか回って行かない小学校の空き教室を書庫としているのは、問題ではないか。

閲覧席もあまり無い、貸し本屋のような分館が数多くある事がはたして文化的に進んでいると言えるのかどうか疑問に思つ。

②図書館建設は非常に大きな計画なので広い意味での計画に、たづねに着手しても、けつして早すぎることはない。納税者としては

建設準備期間をたっぷりとつて、すべての市民が

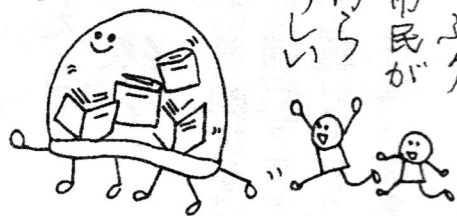
良いサービスを受けられる、本当にすばらしい図書館をつくつて

ほしい。

職員教育や初任

者研修を積極的に
行い、職員が持つて

いる資質を高める努力を
して、館長を配置して
ほしい。



・企画管理室

松戸市は急激な人口増加があり、プラスチックの部分をやりにくく削ぎ落として分館づくりを進めて来た。サービスの基本方針や、分館を多くつくるという事についてのポリシーがあったのかどうかは疑問だ。が、地域の図書館としての利便性は、あったのではないか。職員教育は今すぐにもできるのではないかと、市議会でも話し

合っている。知識面はもちろん必要だが、利用者を気持ち良く迎えるという事がとても大切だ。

行政が図書館について物を言える立場にまでもつていきたいが、詳しい利用状況がわかりづらい。

「おはなしキャラバン」と、図書館との関係も、きちんとして議論すべき時に来ていると思つ。(注)図書館

費平成11年度・図書購入費約700万円
おはなしキャラバン約4100万円

今の松戸図書館に欠けている働かや満足できない部分を話し合い、ひきまらからすみやかに解決すべきだ。人(職員)と建物は一体で、別々には考えられないものだ。

市としての図書館基本構想が必要

であり、基本方針については、

教育委員会と図書館として議論すべきだ。

それを職員一人一人に徹底



「せ、市民にきちんと提示する事が大事だ。」

中央図書館として立派なものを一つだけ作るのではなく、分館との整合性を考えながら、3、4の地域館を作りたい。

生涯学習会館とすり合わせて、松戸なりの図書館を作りたい。

最後に

企画管理室から

新しい図書館に対する市民の思いを聞く場をもちたい。「準備室」に市民を入れるかどうかは現時点では、わからないが、問答無用で行政が作ってしまうような事はしない。行政と図書館と市民が別々に勉強会をしているが、交流の場を作る必要がある。

そして、「図書館へ行こう」のビデオ上映会を、市役所内で行いたいとの申し出がある。たいへん

嬉しい期待を待って、市役所を後にすることができました。

文責 青木 和子



松戸よみうりの

「図書館を考える」

連載(8回)終了

松戸よみうりの戸田照朗記者は1999年10月の、常世田良浦安市立中央図書館館長の講演を聴いてから、半年間以上にわたって、近隣の図書館を精力的に取材してくださいます。

した。

浦安市立中央図書館を皮切りに松戸市立図書館など、近隣の図書館10館以上を取材し、「松戸よみうり」の一面をさいて、8回の連載で、記事を書いてくださいました。お疲れ様でした。そして、あうがと、うごかしました。タイトルは左記の通りです。今一度、読んでみたいという方は「おいの図書館」(青木和子代表)まで御連絡ください。

図書館 を 考える

浦安市立図書館は

① ちっばいすこかった。

② 図書費が松戸の8倍

③ 書庫がない(松戸の図書館)

④ 近隣の町 図書館めぐり

⑤ 森で書庫を確保(流山)

⑥ 蔵書も司書も1.5倍(柏)

⑦ 図書館建設ラッシュ(近隣)

⑧ 市民の声聞いて(佐民運動)

⑨ スペースの関係でサカサトル書けません

要望書

2000年6月1日(木)

おーい図書館 代表 青木和子
(Tel. 047-367-5384)

松戸市立中央図書館建設計画が盛り込まれた。長期総合計画の第一次実施計画も、3年目に入り、私たち市民の期待は、益々高まっております。

つまりは、市民にとって、最も身近な公共施設である。図書館の建設計画にあたって、以下の事項をご検討下さい。早期に実現して頂たく、要望致します。

- 図書館建設準備会(仮称:以下「準備会」といふ)を、設置するにあたっては、有能な図書館人としての専門家、及び、図書館建設に実績のある、有能で良心的な設計者と建設業者を起用し、また、図書館利用者としての市民の参加が不可欠と考えます。
- 準備会は、松戸市全体の図書館構想・基本姿勢を、明確にして、市民に提示して下さい。その手段としては、市の広報紙に掲載し、また、ダイジェスト版を配布するなどし、それに対する市民の意見は、地域懇話会・郵便・ファクス・図書館の投書箱などで収集して、計画に反映させて下さい。
- 用地は、交通の便・周辺の環境などを考慮し、速やかに取得するよう努めて下さい。これまでの経過からみても、相模台の大蔵省関税分析所跡地が、最適と考えます。

※ 佐賀県 伊万里市では、

「伊万里市は、すべての市民の知的自由を確保し、文化的、かつ民主的な地方自治を促すため、自由で公平な資料と情報を提供する生涯学習の拠点として、伊万里市民図書館を設置する」

という図書館設置条例をつくり、

「自治体は、住民に対して、どのような図書館サービスを約束するか」

を、明確に、うたっています。